

『動画天文学』が切り拓く 惑星科学と天文学の 新たな展開

講師：
有松 亘（国立天文台）

我々が感覚的に認識可能なタイムスケールでは星空は静的であると思われがちであるが、実際は極めて速いタイムスケールでの時間変動現象に満ち溢れていることが示唆されている。こうした未踏の研究領域の開拓の一例として、現在我々がやっている観測プロジェクト、Organized Autotelescopes for Serendipitous Event Survey (OASES) について紹介する。

OASES は小型の太陽系外縁天体 (TNO) の存在を観測的に解明することを目指している。小型の TNO は見かけの明るさが極めて暗く、地上の超大型望遠鏡やハッブル宇宙望遠鏡をもってしても検出不可能である。しかし、OASES ではあるユニークなアイデアを採用することにより、『超』安価な小型動画観測システムによって小型の TNO を検出する手法を開発した。

本セミナーでは、OASES のユニークな観測手法を紹介し、観測システムの開発および性能評価の結果について報告するとともに、OASES などが進める『可視動画天文学』の可能性について、実際の観測結果から着想を得たいくつかのアイデアとともに紹介する。

[事前申込不要・参加自由]

2017. 7.11 TUE 15:00-17:00

会場：学際科学フロンティア研究所 セミナー室

主催：東北大学学際科学フロンティア研究所

お問合せ / 津村 耕司（学際科学フロンティア研究所） tsumura@astr.tohoku.ac.jp